

△産業宣教/自殺予防専門家 死に打ち勝った人々(ダニ 1:8-9)	△レムナント伝道学 バビロンに行ったレムナント (ダニ 1:8-9)	△核心 バビロンの弟子たち(ダニ 1:8-9)	△散らされた弟子たち 残りの者(イザ 6:13)
□序論 今、考えなければならない部分は、自殺者がたくさん生じているということだ。三種類の人々が自殺をたくさんする。最初に、うつ病患者だ。二つ目、エリートだ。表に出さないがエリートの中で霊的問題がものすごく多い。そうするうちに、自尊心がみな崩れれば自殺する。三つ目、芸能人が自殺をたくさんする。この人々が霊的なことが耐えられなくてならないのだ。だれにも話せなくて、苦勞して死ぬのだ。 □本論 1. 自殺する理由-<u>死</u>を恐れる人々 1) 絶望が来て、大変なことに耐えることができないのだ。 2) 私に霊的問題が来ると思って死にそうだから死んでしまうのだ 3) 死を恐れるのだ。これを知ってサタンが働き始める。 2. 死に勝った人々 1) ダニ 3:8-24 2) ダニ 6:10-22 3) エス 4:1-16 この人々に死が目の前に来たのだ。しかし、全く恐れないで死に勝ったのだ。 3. どのように? <u>刻印</u>、根、体質 <u>3・6・11</u> 刻印を変えなければならない。サタンが与えることで続けて刻印、根、体質になる。それゆえ、死んだり、病気になるのだ。これをひっくり返すのだ。本人が「私には誤ったこと(3, 6, 11)が刻印されているのだな」ということを悟ってこそ、働きが起こる。 1) カルバリの丘の契約で運命を変えてこそ、その時からは生かされる。 2) オリーブ山の契約だけで神様の 7 やぐらが作られる。 3) マルコの屋上の部屋の契約でこそ本当の新しい力が生まれる。 □結論_予防-癒やし 1. <u>脳</u>に神様のことを刻印させる黙想をするのだ。刻印の最も良い方法が<u>呼吸+祈り</u>だ。 2. これが、<u>たましい</u>の中に刻印され始める。そこでみことばが生きて働くのだ。そのときから驚くことが起こる。 3. <u>永遠</u>+生活 このとき、永遠な人と会うようになる。それは御座でなければ地獄、すなわち、神様でなければサタンだ。病人(自殺しようとする人)に生きる道があることを教えなければならない。 △自殺予防専門家が自殺しようとする人は、単に人であるが憂鬱な人だ。日が経つにつれ絶望の中に陥る人だ。しかし、この希望が分かれば生かされる。それゆえ、神様の中で神様が与えられたことを回復する再創造されたことを分かればよい。	レムナントが行く現場は、おもに学校、家、友達、教会であるが、レムナントは外に出て行かなければならないので、恐れずに難しい部分をよく越えなければならない。 □本論 1. 理由を知って行った人々 1) 福音が消えた時代-それゆえ、捕虜になった、バビロンは人々を捕虜にして行ってこそ生きると考える 2) イスラエルの滅亡理由を分かったこと 3) 捕虜になった理由も分かったこと △ダニ 1:8-9 それゆえ「心に定めた」私たちがどこに行っても正確なみことばを握って心を定めれば勝つ、私たちは神の子どもなので、正確な契約を握って理由を知って待てば勝つのだ。 2. 条件を知って行った人々 1) 強大国の問題、長所を知っていた 2) 237-5000 種族の畑 3) 世界福音化の条件を持っていること、それゆえ、良く言えば神様が送られたことで、悪く言えば、神様が虐げられるようにして生かすようにされたこと 3. 答えを持って行った人々 1) ダニ 1:8-9 答えを持ったのでその答えを持って心に定めた 2) 王-神様が王の前に立つようにさせた。その時は、王の前に立ってこそ世界化になる 3) 世界化-世界を統治するネブカドネツアルの前に立ってこそ世界化になる △今でも私たちが福音を逃せば強い者に、サタンに奴隷、捕虜になって、教会が門を閉ざす。 □結論 レムナントはレムナント伝道学を聞いて祈りの手帳に必要なことをメモしておいて、捨てずに一生大事に保管しなさい。それがものすごい財産になることで、そこで多くの資料が出てくるだろう。	□序論_サタンと偶像-時空超越、神の国という祈りの奥義を私たちに与えられた理由 教会で神様のやぐらを作らなければならない。 1. 一番最初に現れる偶像 1) 私という偶像-エデン事件 2) 私をネフィリムにするサタン-洪水時代 3) 私の中にサタンのやぐらが建った-バベルの塔事件 △これを本当に知って祈るひとりと教会が出てくれば、働きが起こる 2. 宗教に化ける 1) 神殿を作って人を暗闇に追い込むこと 2) 形を作ること 3) 占術-祈りが分からなくて未来が気になって、恐ろしいから、絶えず流行すること→ 13、16、19 章-ここに唯一訪ねて行った人がパウロだ。皆さんがこれを知るだけでも働きが起こる。分かるということは、祈りが出てくることだ。これが 24 年れば皆さんの教会に弟子が集まるだろう。これを知って祈る人は、神様がその産業の場に働かれる。教会と伝道者を助けることができる力を与えられる。 3. 政治(文化)に化ける 1) 人 2) 経済が集まる。 3) 社会-政治がついてくる。 □本論_来た答え あなたの中にサタンがいるのに、あなたが働きができるのか。聖霊が臨んでサタンが縛られれば神の国だと言われた。 1. 偶像と戦う弟子 1) サタンの戦略 2) 偶像政治でサタンの使いをする。 3) いのちを持っている、いのちをかける-弟子が出てきた いのちをかける教会の価値を分かってこそ、毎週、神様の働きを見る。 2. サミット戦争で完全に勝利 1) 問題-解決 X 2) 滅亡と不安が予想される。 3) 王の前に行って答えを与えて王を生かした。サミットを生かすことがサミット戦争だ。 △この事実を信じることができれば答えが来る。信じられるということは、24 年の前に見えることだ。 3. 戦わずに勝利 1) ダニ 3:8-24 神様が救い出されなくても火の中に入ると言った。 2) ダニ 6:10-22 重傷謀略で死ぬことになったダニエル 3) エス 4:1-16 サタンはイスラエル民族を滅ぼそうとしたのだ。だまされずに、皆さんの教会の中に不信仰して教会を難しくさせる人、そのまま置いておきなさい。戦わずに勝った。 □結論 1. 神様のやぐら作りなさい。やぐらは 24 だ。 2. 教会-3つの庭のやぐらを作りなさい。 3. 職業-光、塩のやぐらを作りなさい。 △霊の世界を知って祈る人はこれが最も実際に見える。	皆さんは常に覚えなければならない。残りの者 □序論 1. 常に当然性から悟るべき 2. 必然性を悟るべき。偶然はない 3. このとき、神様の計画が見える。絶対性 □本論 四つのことは皆さんに当然、必然、絶対に来るだろう。 1. 奴隷 1) 創 39:1-6 ヨセフの答えと奴隷 2) 出 3:1-18 モーセ 3) 出 5:1-12:46 エジプト文化から解放 <u>福音回復</u> 2. 捕虜 1) ダニ 3:8-24(祈るのに神様は保護) 2) ダニ 6:10-22(暗闇縛る) 3) エス 4:1-16(事件をひっくり返す) <u>御使い</u>を送られ神様の働きを動かす 3. 暗闇とサタンの属国になったことに勝つ奥義 1) マタ 18:1-10 幼な子 2) ルカ 23:28 「あなたの子どものために泣きなさい」 3) ヨハ 21:15-18 「わたしの子羊を飼いなさい」 4. 皆さんは流浪の民の時代に備えている。 1) 使 17:1 会堂へ 2) 使 18:4 3) 使 19:8 □結論 福音を持つ者が全世界を変える事 1. 解放 2. 主人-征服者として 3. 宣教師として

△区域メッセージ (第 37 週) 絶対と 25 の答え(使 9:15, 19:21, 23:11, 27:24)	△聖日 1 部礼拝 機会を十分に活かさない(エペ 5:15-18)	△聖日 2 部礼拝 最後の格闘(エペ 6:10-20)
使 9:15、使 19:21、使 23:11、使 27:24 →絶対と 25 の答え 私たちは必ずしなければならないことを見つけなければならない。祈ってみことばを確認する理由だ。「異邦人、王たち、イスラエルの子らの前に運ぶ、私の選びの器です」と伝達されたパウロは迷う理由がなく、答えを見つけ出した。「ローマも見なければならない」というパウロが言ったことばだが、神様がこのことばを引用しながら確認された。これが正確な信仰生活だ。結局「絶対答え」を見つけ出した。この答えは、すなわち「25 答え」になる。私たちの力では世界福音化ができないので、別の力を与えるとされたのだ。 □序論 - 絶対答えの内容(使 1:1 復活されたキリスト)は<u>復活</u>されたキリストだ。今もその名で祈れば答えが来る。 - 絶対答えの方法(使 1:3)は神の国が臨むことだ。 - 絶対答えの力(使 1:8)「しかし(ただ)聖霊があなたがたに臨めば力を受ける」 △「絶対」は神様にだけある。それゆえ、祈るのだ。 □本論 - 私たちは神様の絶対主権を信じる。絶対主権の中から出てくることが Covenant という契約だ。この契約を握っていれば、答えがあらかじめ見える。 - そうすれば、絶対計画が見えるが、Vision だ。このようになれば、あらかじめ持つようになる。 - 絶対計画が見えれば、みことばが出てくるが、これが絶対契約だ。Dream で、あらかじめ味わうということだ。 - 絶対契約が見えれば、正しく行くことができるが、それが絶対旅程だ。神様が与えられた創造の霊で、その力で行くために Image だ。それなら、あらかじめ征服する。 - 神様が作った絶対目標に到達することになって、実際に味わわなければならないので Practice だ。あらかじめ成就したのだ。 △これが全部、絶対答えだ。私たちはこの祝福を受ける資格があるのに、ささいなことゆえに神様の祝福をみな奪われる。それから悔い改めなければならない。悔い改めは、神様に帰って来なさいということだ。神様が創造前に私たちを呼ばれたためだ。 □結論 <u>御座、祈り、みことば</u> 御座の力を味わうことが祈り、みことばだ。これがつながるとき、多くの契約を味わうようになる。祈りの中で神様の契約を味わうようになって、みことばの流れについて行くようになる。すると、絶対祝福が見えて、時空超越の働きが起こる。	□序論 福音と祈りの力を知っているなら、再創造に挑戦しなさい。 - 七か国から攻撃を受けたイスラエル - エジプト 再創造の力、祈りで挑戦したヨセフとヨケベデ - ペリシテ 祈り始めたハンナを通して出たサムエル、ダビデ - アッシリア わざわいを防いだヒゼキヤ - アラム、エリシャ、オバデヤ ※契約は必ず成就する。今、契約を握って再創造の神様の力で不可能に挑戦しなさい。 - バビロン 5、6 人 6) ローマ、ガリラヤの人何人か - 神殿がなくなって全世界に散らされるわざわざいを受けたイスラエル (A. D. 70) -会堂運動で次世代が起きて 250 年後にローマ征服 - 福音を逃すとヒットラーによって無惨に殺害されるわざわざい-次世代のために祈った一人を通して働き - アインシュタイン 2) ハーバード牧師 3) MIT 大学 - スタンフォード大学 - 韓国で人材を育てるのに挑戦した祈りの人々 □本論 極限の危機の中で与えられた答え ※パウロが話した三つのこと-世の中に酔ってはならない。聖霊に満たされなさい。機会を十分に活かさない。 ※ RTS 聖日祈りの課題-神様、時代を動かすほどの本当に福音を味わう神学生が集まって来ますように。本当に自分の動機がなく、計算がない人材を呼んでください。世界福音化するほどの人物を私たちの学校に呼んでください。ただ福音しか知らない人材、神学校に送ってください。 ※バヌアツをはじめとして 14 個の南太平洋の人材を送ってください。 - ただ聖霊の満たしを受けなさい。再創造できるその力を受けなさい。 - ゼカ 4:6 ただ主の霊によって 2) ヨエ 2:28 聖霊の満たし - ヨハ 14:16 聖霊を受ければ、すべてのことを悟るように - ヨハ 14:26 助け主聖霊がすべてのことを思い起こさせてくださる - 使 1:8 ただ聖霊があなたがたの上に臨めば、力を受けて地の果てまで証人になる。 - 力を受けて- 7 やぐら - 三位一体の神様があなたとともにいるその力で再創造しなさい。 - 御座の力で再創造しなさい。 - 空中の權威を持った支配者を砕くことができる力で再創造しなさい - 上から与えられる力で再創造しなさい。 - 地の果てまでわたしの証人になります-7 大旅程 - 三位一体の神様の働き 2) 10 の奥義 3) 10 の土台 9 つの流れ 5) 5 つの確信 6) 一生の答え ※レムナントは金土日時代に集まって聖霊の力で霊的サミットに先になりなさい。 □結論 - 背景ないこと確認して 2. 伝道、祈り、癒やし研究に挑戦して - 神様のみことばで答えを見つけて 4. やぐらを建て始め	エペ 6:10 最後に-最後の戦い、皆さんの戦いはサタンとの戦いだ。 わざわざい完全に離れる日 サタンの本性は皆さんを滅亡させようということだ。キリストが来られて一番最初になされた働きがサタンの權威を打ち壊されたのだ(創 3:15)。私たちにこの權威を与えてくださった(ルカ 10:19、マコ 3:15)。これを知って祈る瞬間、わざわざいは終わる。 □序論 - 当時の背景 - AD62 ごろ記録された聖書-70 年にイスラエル滅亡 - ローマ迫害 250 年間続いた。 1900 年間、すべての所で殺されたイスラエル △サタンはキリストの他には恐れぬ。福音を受けたことが、どれくらい驚くべきことであるか知るべき。キリストの働きが起こったのを一度も見られなかったので、聖書が理解できないのだ。イスラエルは、暗闇を打ち壊したキリストを受けておいて、福音を伝えないのだ。福音に対して分からなければ、昔に戻らなければならない。 1948 年に回復したイスラエル 3 団体 2) 宗教が起こり - 霊的戦争始まり-<u>霊的わざわざい</u>臨んでいる。 △教会は福音、キリストを話さなくなっている。サタンが完全に覆ったのだ。 - これから 1) AI 時代 2) 第 4 次産業革命 3) 霊的問題時代が来る □本論 答え - 世の中が教えることができないこと-私たちの<u>戦い</u> - エペ 6:12 (1) 支配 (2) 力(力がある者) (3) 暗闇の世界の支配者 (4) 悪霊を動かすサタン - かなり以前から(12 のことで人を完全に倒した) - これから(黙 12:1-9 大きな力を持って世の中を揺るがすので、だまされてはならない) - クリスチャンにだけ与えられたこと-<u>全身武具</u>を身に着けなさい。 - 救いのかぶと(救いの確信) 2) 正義の胸当て(救いの感激) - 真理の腰の帯(みことば) 4) どんな攻撃も防げる盾-信仰 - どんなことも勝つことができる剣 - 私の足に合う福音の履き物 7) 常時祈り(聖霊にあつて) - だれも与えない武器-<u>エペ 6:18</u> - 24 祈り - 定刻祈り(答えを受ける時間) 2) 集中祈り(力を受ける時間) - 常時祈り(見張り人の使命を果たす)-<u>からだ、時刻表</u>(朝、昼、夜)、<u>生活</u>を活用することができる祈りをしなさい。やぐらを建てなさい。 □結論 7 やぐらを祈りで建てなさい(刻印) 2. 7 旅程を祈りで味わいなさい。 - CVDIP(あらかじめ)祈りなさい。 △金土日時代を開いてレムナントの中にサタンのやぐらを倒して、神様のやぐらを建てなさい。7 旅程に行くようにさせなさい。あらかじめ答えを受けるようにさせなさい。皆さんのために 24 祈りをする人、主のしもべがいるなら、霊的にものすごい疎通が起こる。